# 税務診断報告書

2023 年 5 月 29 日

税理士 濱野真一

１．虹の会計管理体制

（１）評価

・現金管理については手許に多額の現金を保有せず、軽微な事務用品及び日用品を購入し得る範囲の額にとどめていただいている。

・現金の入出金がある際には、帳簿残と手許残の突合を常に行っている。

・事業初年度のため複式簿記による会計ソフトの有効活用に若干の停滞が散見されたが、その後の指導により改善が図られた。

（２）提言

・初年度ということもあり、会計管理や統制についての厳格性よりも、管理部門がどのような流れでその業務を行っていくかの試用的な期間があったものと感じます。その中で一つ一つの処理の正確性はしっかりと担保されておりました。

今後は虹の会を取り巻く関係者が増えてくると同時に、それらの方々への事業活動の理解と信用を得るための会計管理の厳格性が求められることとなります。

よって役員会や運営委員会において牽制を効かせながら不正や誤謬を生じさせない組織づくりに努めていただきたい。

２．会費・賛助会費・寄附金の処理

（1） 評価

・活動報告及びＨＰ作成により正会員及び賛助会員拡大のための努力を鋭意されている。

（2） 提言

・会費及び寄附金については、現状その絶対的数値が多いわけではなく、直接的利害関係者により構成されているため、その事務的負担は見られないものの、県指定ＮＰＯ法人取得のためには不特定かつ多数の県民の利益に資することや地域に根付いた活動の展開が必要であり、会費及び寄附金の割合が増えてきた際には、適正かつ厳格な証拠を示し、その資金をＮＰＯ法人の設立趣旨に沿った形で明示していくことが肝要となります。

３．労働環境並びに職員等給与の支給に関する規程

（１）評価

・明瞭で網羅的な就業規則や育児介護休業規程等の作成を模索されたが、労働環境の変化が顕在された際に再考することにした。

・学生アルバイトを登用することにより若年層へ組織活動を示す良き機会を創出された。

（2）提言

・2020 年 4 月より働き方改革関連法案が施行されております。労働環境整備は今後とも時代に合わせながら充分な検討を図る機会を取っていただきたい。

## ４．総論

設立初年度ということで運営組織体制を試行錯誤しながら運営されてきました。そのなかで各組織に配属されている方々はその道の専門家であり、かつ複眼的な視点で見識がある方々であります。2 年目以降ではそれらの方々のご意見をしっかり吸い上げ、会員以外で潜在的に地域とのコミュニティーを求めている方々へのきっかけづくりと恒久的なつながりを実現化できる足がかりになることを期待しております。

「地域福祉団体との連携事業」「障がい者サポート育成事業」「権利擁護の広報事業」「成年後見事業」の 4 つの柱を実施するにあたり、今後人が多く介在することとなります。同時に資金的な動きも活発化することとなりますのでその点の管理運営については今以上の注意を払う必要が出てくることを認識してください。